

令和6年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22097	事業名	行政情報番組提供事業		評価分類	A1		
	事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 補助等 <input type="checkbox"/> その他()							
	施策体系	施策の大綱	05:市民力・地域力の活性化			予算科目	会計	01:一般会計	
		基本施策	02:市民参画・交流活動の促進と協働の推進				款	02:総務費	
		施策の方向	03:広報・広聴の充実				項	01:総務管理費	
重点プロジェクト	-			目	02:広報活動費				
事業期間	H 15 年度 ~ R - 年度		主な根拠法令等		-				

担当部署	
部	政策部
課	広報秘書課 広報G

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	市の施策や魅力を市民に理解してもらい、主体的にまちづくりに関わる人を増やすため、動画の特性を生かした市民参画によるケーブルテレビ放送によって、分かりやすい情報発信を行う。	市民	ケーブルテレビ放送を通じた情報発信により、市民が行政情報をより理解するとともに、番組制作により多くの市民が関わることで、まちづくりに対する市民参画意識が高まる。	動画の特性を生かし、市の施策や事業、イベント情報等をコンテンツとした番組を毎週制作し、ケーブルテレビで放送する。また、広報サポーターや学生アナウンサーなど、市民参画により、親しまれる番組を制作する。

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業計画		○行政情報番組制作及び放送管理 ○文字情報の提供及びシステム管理 ○広報サポーター等の活用		○行政情報番組制作及び放送管理 ○文字情報の提供及びシステム管理 ○広報サポーター等の活用		○行政情報番組制作及び放送管理 ○文字情報の提供及びシステム管理 ○広報サポーター等の活用		○行政情報番組制作及び放送管理 ○文字情報の提供及びシステム管理 ○番組及び文字情報放送機器等の更新 ○広報サポーター等の活用	
活動実績 (計画通り実施できたか)		新型コロナ関連の補助制度の紹介など、年間53週分の番組を制作・放送した。番組司会以外でも広報サポーターの出演等(16回)により番組制作を行った。特集番組では、駅前再開発事業の完成や亀山ブランド第2弾の決定とともにそれらに関わる人々の姿やコメントを紹介する番組を制作した。文字情報は、定期放送174件、選挙情報を随時放送した。		市内の行事や市の事業の紹介など、年間52週分の番組を制作・放送した。番組司会以外で、広報サポーター(アナウンサー)の出演等(17回)により番組制作を行った。特集番組では、コロナ禍を経て再開された灯おどりや獅子舞の取り組みとともにそれらに関わる人々の姿やコメントを紹介する番組を制作した。文字情報は定期放送200件、災害等情報を随時放送した。		市の事業や取り組み等の、行事や園児を紹介する番組を年間52週分を制作・放送した。このうち、特集番組(4本)では、関宿重伝建選定40周年、生物多様性共生区域等を紹介した。また、広報サポーター(43回)や学生アナウンサー(小学生2回、中学生3回、高校生4回)に出演いただいた。文字情報は、定期放送(152件)と災害等情報を随時放送した。			
③ 事業の実施状況 (P・D)	計画額	事業費	22,400千円	22,300千円	22,200千円	22,100千円	22,400千円	22,029千円	19,700千円
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円	
		地方債		0千円		0千円		0千円	
		その他		0千円		0千円		0千円	
		一般財源	22,400千円	22,300千円	22,200千円	22,100千円	22,400千円	22,029千円	19,700千円
決算額	決算額	事業費		21,936千円		21,763千円		21,650千円	
		国・県支出金		0千円		0千円		0千円	
		地方債		0千円		0千円		0千円	
		その他		0千円		0千円		0千円	
		一般財源		21,936千円		21,763千円		21,650千円	
①期間内計画額(R4-7)		86,700千円		②期間外計画額(R8-)		-		①+②総計画額 86,700千円	

(令和6年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	22,029千円
次年度への繰越額	0千円

指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
④ 年間番組制作数	毎週1回更新(令和7年5月以降は毎月2回更新)	活動	番組	計画値	53	52	52	26
				実績値	53	52	52	
番組制作への市民参画数	広報サポーター(番組アナウンサー)、学生アナウンサー、市民活動団体等の番組出演回数及び令和7年度写真投稿コーナー応募数	成果	件	計画値	65	65	65	65
				実績値	69	69	67	
				計画値				
				実績値				

判定	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)
⑤ 成果 (C) A	市の取り組みをはじめ、各種行事や園児の活動等で構成した番組を市民参画を得ながら制作・放送したことで、分かりやすく、親しみやすい情報発信につなげた。また、特集番組で閑宿、生物多様性共生区域、かめやま文化年等を紹介することで、市の魅力や地域資源の再認識を図った。
十分な成果を得た	

事業の対象	事業の目的
市民	ケーブルテレビ放送を通じた情報発信により、市民が行政情報をより理解するとともに、番組制作により多くの市民が関わることで、まちづくりに対する市民参画意識が高まる。

(再掲)

事業の達成状況等を踏まえた課題事項
⑥ 課題 (C)
映像と文字を組み合わせ、視覚と聴覚に訴えることができる情報発信媒体として、ケーブルテレビを活用した行政情報番組を制作・放送してきた一方で、令和6年度事務事業点検において、「事業の有効性は一定程度認められるが、視聴に限られていると思われるので改善が必要」との評価や、「経費の節約も視野に入れた検討が必要」等の意見を受けたことから、番組更新回数の見直しや市民参画によるコンテンツの充実等が必要である。

方向性	
⑦ 事業の展開 (A)	
継続(現状維持) 現状どおり事業を継続する	
改善・見直し内容	
令和7年度で対応する(した)もの	令和8年度以降で対応するもの
市制施行20周年の節目に合わせ、番組構成の刷新(更新回数、番組枠等)と番組コンテンツ(市民参画の番組制作、学びの講座等)の充実とともに、他の媒体との連動を図りながら、更なる活用を図る。また、番組に対する市民の声を聞ける環境を整える。	広報サポーターや学生アナウンサーの起用などに加え、番組コンテンツの充実を図りながら、市民参画を進める。また、番組コンテンツの充実や見直しを継続することにより、市民に親しみやすく、地域資源を再認識できるような番組制作に取り組んでいく。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
⑧ 履歴				
成果判定	A	A	A	
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)	

1次評価者	政策部 広報秘書課 広報GL 西川 智博
最終評価者	政策部 広報秘書課長 末崎 照美